

# 夜間銃猟安全管理講習会 募集要項及び参加申込書

平成 27 年 5 月に鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律（平成 26 年法律第 46 号）が施行され、認定鳥獣捕獲等事業者制度が導入されました。

環境省では、夜間銃猟に係る認定を受ける意向のある認定鳥獣捕獲等事業者の「事業管理責任者」及び「夜間銃猟をする捕獲従事者」を対象として、認定要件の一つとなる「夜間銃猟安全管理講習」を開催します。併せて、認定要件の一つとなる捕獲従事者の「夜間銃猟をする際の安全確保に関する技能の要件」のうち、射撃技術の技能を証明するための実射考査による確認を行います。

なお、夜間銃猟は、都道府県が指定管理鳥獣捕獲等事業を効果的に行うために必要と判断し、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画に位置づけた場合であって、都道府県又は国の機関が指定管理鳥獣捕獲等事業として実施する場合に限り、厳格な安全管理のもと、限定的に実施が認められるものです。

夜間銃猟の実施を予定している都道府県は、現時点ではごく一部です。夜間銃猟に係る認定を受けても、夜間銃猟を含む指定管理鳥獣捕獲等事業を受託できるとは限らないことにご留意ください。

## ■開催日程・場所

| 開催日程                 | 申込締切     | 開催地  |
|----------------------|----------|--|
| 平成 27 年 9 月 25 日（金）  | 8 月 24 日 | 関東会場<br>ぐんまジャイアント総合クレー・ライフル射撃場<br>（群馬県富岡市桑原 604） |
| 平成 27 年 10 月 21 日（水） | 8 月 24 日 | 北海道会場<br>帯広総合射撃場<br>（北海道河西郡芽室町平和西 14 線 22）       |
| 平成 27 年 11 月 26 日（木） | 8 月 24 日 | 関西会場<br>京北総合射撃場<br>（京都府京都市右京区京北下町山作り 1-2）        |

※修了者には講習会修了証を発行するとともに、実射考査合格者には射撃技能証明書を発行します。  
※申し込み状況により、追加開催を検討します。

## ■開催時間・内容（予定）

| 内 容   | ぐんまジャイアント<br>総合射撃場 | 帯広総合射撃場     | 京北総合射撃場     |
|---|--------------------|-------------|-------------|
| 受付（30分）   | 11：00～11：30        | 10：15～10：45 | 10：20～10：50 |
| 夜間銃猟安全管理講習（2時間）<br>◆制度の概要<br>◆夜間銃猟の実施における安全確保   | 11：30～14：50        | 10：45～13：55 | 10：50～14：00 |
| 夜間銃猟安全管理実習（3時間）<br>◆銃器の安全な取り扱いの確認（別紙1）<br>（模擬銃の利用）<br>◆薄暮時における模擬的な夜間銃猟体験<br>★捕獲従事者の方は、併せて実射考査を行います（1時間程度）。（別紙2） | 14：50～18：40        | 13：55～17：55 | 14：00～18：00 |
| 習熟度確認テスト（20分）   | 18：50～19：10        | 18：05～18：25 | 18：10～18：30 |

主催：環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

<http://www.env.go.jp/nature/choju/index.html>

## ■参加費用

無料

## ■参加申し込み方法

「夜間銃猟安全管理講習会参加申込書」に必要事項をご記入の上、電子メール又はFAXで事務局にお送りください。

## ■受講者の要件

受講者は、事業管理責任者又は夜間銃猟をする捕獲従事者に限ります。参加要件は以下のとおりです。

### 【全員が満たさなければならない参加要件】

- ・認定鳥獣捕獲等事業者（又は認定を受ける見込みがある鳥獣捕獲等事業者）に所属していること。
- ・第1種銃猟免許を有すること。
- ・安全管理講習及び技能知識講習を修了していること。
- ・全てのカリキュラムに参加すること。

### 【上記に加え、夜間銃猟をする捕獲従事者が満たさなければならない要件】

- ・現に銃器を所持していること。
- ・以下の①～③を満たしうる者であること。
  - ①射撃場における5回以上の射撃において、標的の中心から2.5cmの範囲に全て命中させる技能又はこれと同等の技能を有すること。なお、射撃線から標的までの距離は50mとし、射撃姿勢（銃身を架台、土のう等に依託する場合を含む。）は問わない。
  - ②申請前3年間に、継続して、第一種銃猟免許を受け、かつ、装薬銃を所持しているとともに、申請前3年以内に、装薬銃を使用して自ら指定管理鳥獣の捕獲等をした実績を有し、当該捕獲等が十分かつ適切なものであること。
  - ③危険な状況においては発射しない判断力及び自制心を備える等、夜間銃猟をする者として相当な人格識見を有すること。

## ■参加申し込み方法

募集要項をご確認のうえ、**夜間銃猟安全管理講習会参加申込書**に必要事項をご記入いただき、電子メール又はFAXで事務局にお送りください。

## ■注意事項

- ・鳥獣捕獲等事業者（法人）ごとにお申込みください。個人からの申込みは受け付けません。
- ・会場の都合上、受講者は一会場あたり10名程度とさせていただきます。（受講申込み人数によっては各法人で申し込まれた全員が受講できない場合があります。4名（事業管理責任者を含む）以上で申し込まれる場合は事務局に御相談ください。）。また、申し込み多数の場合は、認定鳥獣捕獲等事業者を優先させていただくとともに、申込書に記載の内容（実績等）や、都道府県における夜間銃猟の実施予定等を勘案し、優先順位を決めさせていただきます。なお、今年度参加できなかった方におかれましては、来年度以降の講習の受講をお願いします。
- ・受講の可否については、事務局から電子メール等でご連絡します。受講が決定された方には参加票を電子メール等でお送りしますので当日印刷してご持参ください。

## ■持ち物

- ・参加票
- ・射撃技能の証明のための実射考査において使用する銃器（ライフル、散弾銃、ライフル及び散弾銃以外の猟

銃のいずれでも構いません。)、実包(実射考査では最低5発使用します。試射が必要な場合は別途用意(10発以内)してください。)、模擬弾、その他必要な器具類。捕獲従事者を兼ねない事業管理責任者については、実射考査をしませんので、銃器、実包、模擬弾、銃所持許可証は持参不要です。

- ・銃所持許可証
- ・昼食(各自でご用意ください。)

■参加申込書の記載例

## 夜間銃猟安全管理講習会参加申込書

参加日程 第1希望： 北海道 ・ 関東 ・ 関西 会場  
 第2希望： 北海道 ・ 関東 ・ 関西 会場 (いずれの会場を○で囲んでください)

鳥獣捕獲等事業者名 株式会社 ○○ 業種 環境コンサル

鳥獣捕獲等事業所住所 東京 都・道・府・県 ○○区 ○○ △-△-△

申込担当者 (部署) 鳥獣対策部 (氏名) ○○ ○○

電話番号 \*\*\*-\*\*\*-\*\*\* FAX番号 \*\*\*-\*\*\*-\*\*\*

電子メールアドレス \*\*\*@\*\*\*. Co.jp

認定申請状況 1. 認定済み 東京 都道府県、 認定証番号 \*\*\* 、認定年月日：2015/\*\*/\*\*  
 2. 申請中 都道府県へ申請中 申請日：平成 年 月 日  
 3. 今後申請予定 都道府県へ申請予定 申請予定日：平成 年 月 日

夜間銃猟を含む指定管理鳥獣捕獲等事業の受託を希望する都道府県 東京・神奈川 都・道・府・県

以下に提出する人物は、危険な状況においては発射しない判断力及び自制心を備える等、夜間銃猟をする者として相当な人格識見を有するとして、推薦します。

(法人名) 株式会社○○ (氏名) 代表取締役 △△ △△ 公印

受講者名簿につきましては、**参加の優先順**に記載してください。

|  |           |   |                   |
|--|-----------|---|-------------------|
| 受講者氏名 (事業管理責任者に○)                        |           | 環境 太郎 (○)   |                   |
| 生年月日                                     |           | 昭和○○年○○月○○日   |                   |
| 住 所                                      |           | 東京都○○区○○△-△△-△△                                       |                   |
| 安全管理講習及び技能知識講習 (修了証番号)                   |           | 環境省開催の修了者：第 1500000 号、その他は写しを添付                       |                   |
| 第1種銃猟免許の所持年数                             |           | 25年   |                   |
| 装薬銃の所持年数                                 |           | 25年   |                   |
| 実射考査<br>で使用す<br>る銃                       | 銃の種類      |   | ライフル銃             |
|  | 所持許可番号    |   | 所持許可証写真のページの番号を転記 |
|  | 実包の種類     |   | 該当銃の適合実包転記        |
| 申請前3年以内<br>の装薬銃による<br>ニホンジカ・イ<br>ノシシについて | ニホン<br>ジカ | 捕獲頭数  | ○○○頭              |
|  |           | 主な捕獲都道府県  | 東京都・神奈川県          |
|  | イノ<br>シシ  | 捕獲頭数  | ○○頭               |
|  |           | 主な捕獲都道府県  | 東京都               |
| 射撃技術                                     |           | 次ページの記載例を参照ください。<br>同等の技能を有することを確認するためのものなので、静的射撃に関する |                   |

射撃技術

もので、競技ルール等が明らかなものが望ましいです。

1. ISSF : International Shooting Sport Federation の競技ルールに基づく大会等

(1) (社) 日本ライフル射撃協会

・平成●●年度 西日本ライフル射撃選手権大会ライフル射撃競技  
50mP60M 40 位

・第●●回国民体育大会ライフル射撃競技 15 位

(2) (社) 日本クレー射撃協会

・●●年度春季公式大会 RT50m 競技 センターファイアライフルの部  
180 点 10 位

・第●●回国民体育大会関東ブロック大会 スキート競技 80 点 25 位

・第●●回国民体育大会 トラップ競技 80 点 30 位

2. 大日本猟友会・都道府県ブロックレベルの大会等

・第●●回 一都八県親睦ライフル・スラッグ射撃大会 ライフルの部  
180 点 10 位

・第●●回 安全狩猟関東東山静ブロック射撃大会 80 点 28 位

3. 都道府県猟友会レベルの大会等

・第●●回 △△県選手権大会 トラップ競技 80 点 25 位

(別紙 1)

## 銃器の安全な取り扱い実習 実施要領

夜間銃猟安全管理実習のうち、銃器の安全な取り扱いに関する実施要領は、次のとおりとします。

夜間銃猟においては、安全性が最優先ですので、不適切な取り扱いがあった場合は、改めることが求められます。

実習では、公安委員会の指定を受けた射撃指導員の指示のもとで、以下の操作を行っていただきます。射撃指導員は、講習記録基準（テキストに記載）にしたがって、受講者の銃器の取り扱いを確認します。操作に際して危険な行為等があった場合には、その内容を記録して受講者に改善を促します。

### (1) 使用する銃の点検及び分解結合（1回）

ア) ボルト式の銃は、ボルトの脱着を行っていただきます。その他の銃は通常の分解結合を行っていただきます。

イ) 使用する銃の安全点検を行っていただきます。点検では、受講者は「……につき異常なし」等声を出して行っていただきます。

### (2) 使用する銃の保持及び携行（1回）

使用する銃を携行していただき、射台と銃架の間を移動していただきます。

### (3) 模擬弾の装填及び脱包（2回）

模擬弾の装填及び脱包を行っていただきます。模擬弾は、講習においては、実包とみなします。

### (4) 照準及び空撃ち（5回）

射撃姿勢をとり、空撃ちを行っていただきます。

### (5) 不発の場合の処理（1回）

## (別紙 2)

### 実射考査 実施要領

夜間銃猟安全管理講習の受講者のうち、捕獲従事者を対象に、射撃技能を確認するための実射考査を以下の方法により実施します。

#### (1) 使用する銃種及び実包

実射考査において使用する銃種（ライフル銃、ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃、散弾銃）は問いません。使用する実包については、射撃場で使用できるものであれば制限はありません。

#### (2) 標的の大きさ

中心点を「+」または「×」で示し、中心点から半径 2.5 センチメートルの範囲を記した標的紙を使用して実施します（次頁参照）。

#### (3) 射撃の方法等

ア) 射撃場において、50mの距離から静的射撃を行います。

イ) 射撃回数は、受講者 1 人につき、5 回の射撃とします。

ウ) 考査とは別に 10 回以内の試射を認めます。試射は、照準調整のためのものであるため、考査とは別の標的紙を使用し、考査の対象とはしません。試射は、考査開始前のみ行うことができます。

エ) 時間は 1 人につき、試射を含めて 10 分以内とします。

オ) 実包の装填数：1 回の射撃につき、実包は 1 個のみ装填するものとします。

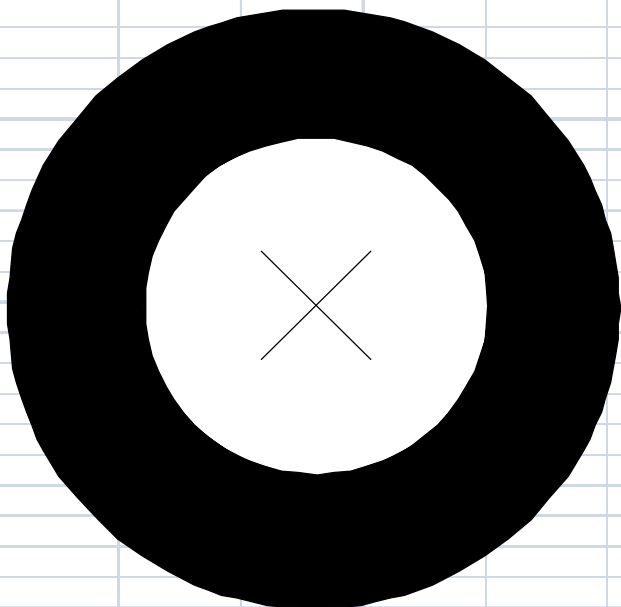
カ) 受講者は立射、膝射、伏射及び肘射のいずれかの射撃姿勢により射撃を実施することとします（なお、今回講習を開催する射撃場では、いずれの会場も伏射は施設の都合により実施できません。）。依託射撃を行う場合、架台、土のうを使用することも可能です。銃を完全に固定する方法（例：ベンチレストで銃全体を完全に固定する方法）での依託射撃は認めません。また、銃を安定させるために腕に絡めて使用する負い革についてもその使用を認めることとします。

※必要な器具については各自ご持参ください。なお、この基準に適合するか不明な場合には、参加票が交付された後に、器具の写真等を添付して講習会事務局連絡先まで電子メール（[yakanjuryo@jwrc.or.jp](mailto:yakanjuryo@jwrc.or.jp)）または FAX(03-6659-6333)で、お問い合わせください。

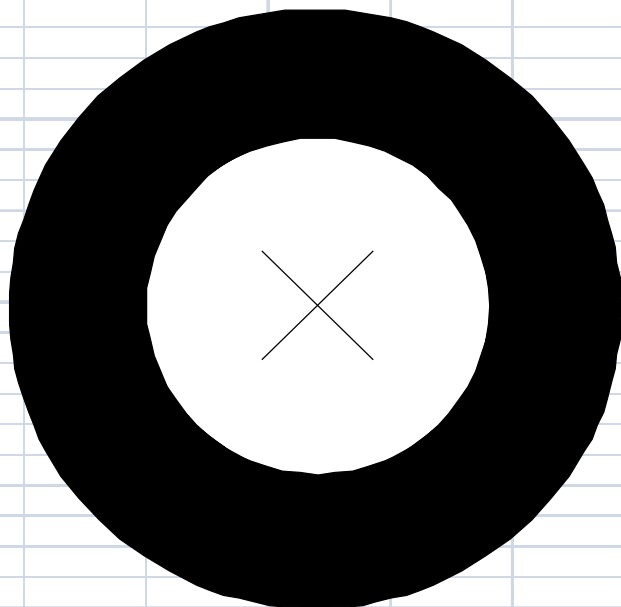
#### (4) 合否の基準

5 回以上の射撃を実施し、所定の標的の中心から半径 2.5cm（標的の中心から弾痕の中心までの距離）の範囲に全て命中すれば合格です。

合格者には、認定申請時に必要な「射撃技能証明書」を発行します。



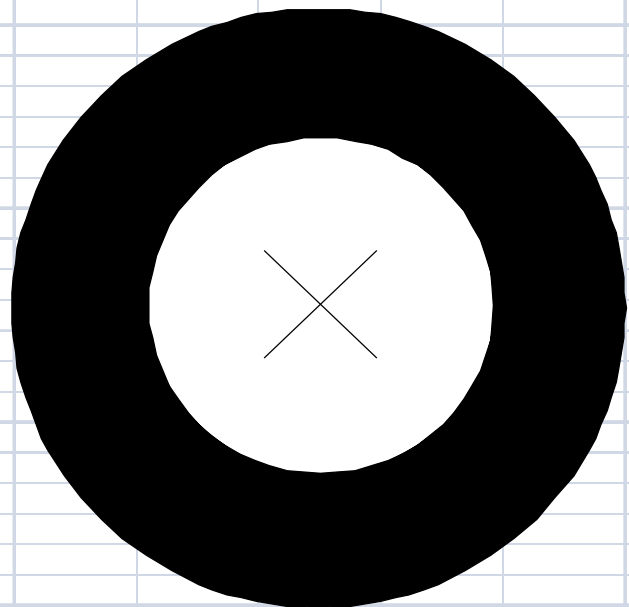
1 \_\_\_\_\_ cm



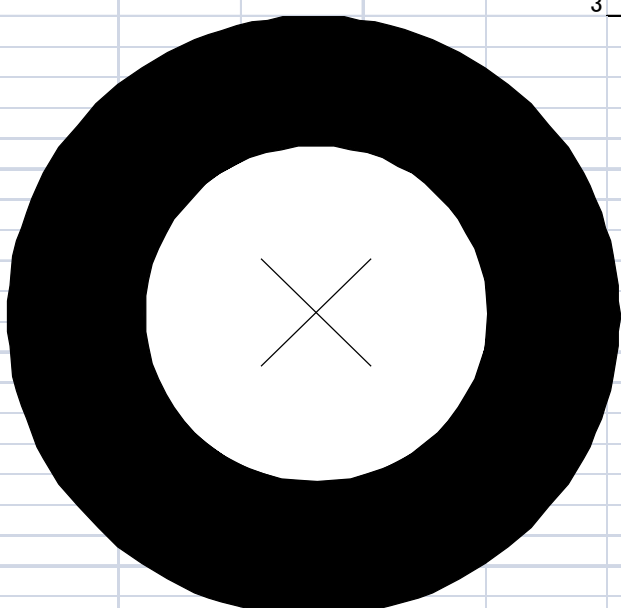
2 \_\_\_\_\_ cm

立射  
膝射  
肘射  
委託

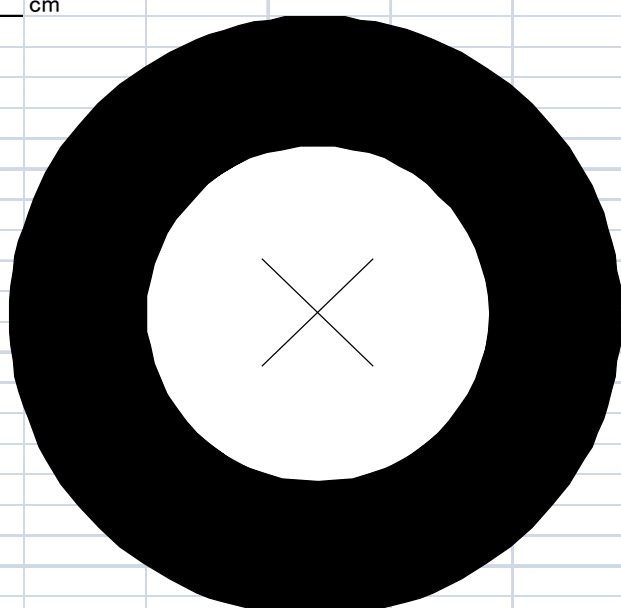
年 月 日  
氏名



3 \_\_\_\_\_ cm



4 \_\_\_\_\_ cm



5 \_\_\_\_\_ cm



# 夜間銃猟安全管理講習会参加申込書

参加日程 第1希望： 北海道 ・ 関東 ・ 関西 会場

第2希望： 北海道 ・ 関東 ・ 関西 会場 (いずれの会場を○で囲んでください)

鳥獣捕獲等事業者名 \_\_\_\_\_ 業 種 \_\_\_\_\_

鳥獣捕獲等事業所住所 \_\_\_\_\_ 都・道・府・県 \_\_\_\_\_

申込担当者 (部署) \_\_\_\_\_ (氏名) \_\_\_\_\_

電話 番号 \_\_\_\_\_ FAX 番号 \_\_\_\_\_

電子メールアドレス \_\_\_\_\_

認定申請状況 1. 認定済み \_\_\_\_\_ 都道府県、 認定証番号 \_\_\_\_\_ 、認定年月日： \_\_\_\_\_

2. 申請中 \_\_\_\_\_ 都道府県へ申請中 申 請 日：平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

3. 今後申請予定 \_\_\_\_\_ 都道府県へ申請予定 申請予定日：平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

夜間銃猟を含む指定管理鳥獣捕獲等事業の受託を希望する都道府県 \_\_\_\_\_ 都・道・府・県 \_\_\_\_\_

以下に提出する人物は、危険な状況においては発射しない判断力及び自制心を備える等、夜間銃猟をする者として相当な人格識見を有することを証明します。

\_\_\_\_\_ (法人名) \_\_\_\_\_ (氏名) \_\_\_\_\_ 公印

受講者名簿につきましては、**参加の優先順**に記載してください。

|                        |        |                              |  |
|------------------------|--------|------------------------------|--|
| 受講者氏名 (事業管理責任者に○)      |        | ( )                          |  |
| 生年月日                   |        |                              |  |
| 住 所                    |        |                              |  |
| 安全管理講習及び技能知識講習 (修了証番号) |        | 環境省開催の修了者： _____ 号、その他は写しを添付 |  |
| 第1種銃猟免許の所持年数           |        |                              |  |
| 装薬銃の所持年数               |        |                              |  |
| 実射考査<br>で使用す<br>る銃     | 銃の種類   |                              |  |
|                        | 所持許可番号 |                              |  |
|                        | 実包の種類  |                              |  |
| 申請前3年以内<br>の装薬銃による     | ニホン    | 捕獲頭数                         |  |
|                        | ジカ     | 主な捕獲都道府県                     |  |
| ニホンジカ・イ<br>ノシシについて     | イノ     | 捕獲頭数                         |  |
|                        | シシ     | 主な捕獲都道府県                     |  |
| 射撃技術                   |        |                              |  |

|                       |        |                        |  |
|-----------------------|--------|------------------------|--|
| 受講者氏名（事業管理責任者に○）      |        | ( )                    |  |
| 生年月日                  |        |                        |  |
| 住 所                   |        |                        |  |
| 安全管理講習及び技能知識講習（修了証番号） |        | 環境省開催の修了者： 号、その他は写しを添付 |  |
| 第1種銃猟免許の所持年数          |        |                        |  |
| 装薬銃の所持年数              |        |                        |  |
| 実射考査<br>で使用す<br>る銃    | 銃の種類   |                        |  |
|                       | 所持許可番号 |                        |  |
|                       | 実包の種類  |                        |  |
| 申請前3年以内<br>の装薬銃による    | ニホン    | 捕獲頭数                   |  |
|                       | ジカ     | 主な捕獲都道府県               |  |
| ニホンジカ・イ<br>ノシシについて    | イノ     | 捕獲頭数                   |  |
|                       | シシ     | 主な捕獲都道府県               |  |
| 射撃技術                  |        |                        |  |

|                       |        |                        |  |
|-----------------------|--------|------------------------|--|
| 受講者氏名（事業管理責任者に○）      |        | ( )                    |  |
| 生年月日                  |        |                        |  |
| 住 所                   |        |                        |  |
| 安全管理講習及び技能知識講習（修了証番号） |        | 環境省開催の修了者： 号、その他は写しを添付 |  |
| 第1種銃猟免許の所持年数          |        |                        |  |
| 装薬銃の所持年数              |        |                        |  |
| 実射考査<br>で使用す<br>る銃    | 銃の種類   |                        |  |
|                       | 所持許可番号 |                        |  |
|                       | 実包の種類  |                        |  |
| 申請前3年以内<br>の装薬銃による    | ニホン    | 捕獲頭数                   |  |
|                       | ジカ     | 主な捕獲都道府県               |  |
| ニホンジカ・イ<br>ノシシについて    | イノ     | 捕獲頭数                   |  |
|                       | シシ     | 主な捕獲都道府県               |  |
| 射撃技術                  |        |                        |  |

記載いただきました個人情報 は 厳重に管理し、本講習会の修了証書及び講習会運営以外の目的には使用しません。

**事務局：一般財団法人自然環境研究センター 東京都墨田区江東橋3丁目3番7号**  
**【申し込み先】 FAX 03-6659-6333 E-mail yakanjuryo@jwrc.or.jp**